

清明の音

清明小学校 校長室だより

令和6年8月22日

清明であること

2学期のスタートに当たり、みなさんと、「清明小学校」について、とは言っても「清明小」という名前について考えてみたいと思います。私たちの学校の校名は「清明小学校」ですが、多くの学校の校名に「地名」等が入っている中、清明小にはそれがありません。なぜでしょうか。それは校名そのものに「こういう学校になってほしい」「こういう子どもたちであってほしい」「こういう先生たちであってほしい」、と願いをこめて名づけていただいた学校であると思います。

ご存じの通り、「中央小学校」と「南小学校」の2つの学校が一つとなり、清明小学校として開校したのが、昭和34年(1959年)、今から65年前になります。開校を前に、新しい学校の名前をどのようにするのか、多くの方が時間をかけて考えていたようです。

校名が決定したのは開校前年の昭和33年(1958年)、「清く明るい学校」を願って「清明小学校」と名付けられました。

この「清明」をさらに紐解いてみると、「清浄明潔」という言葉からきていることがうかがえます。「清浄明潔」とは、すがすがしく、明るく、美しい。清らかで明るく生き生きとした様子を意味しています。まさに、「清く明るく」ですね。

「清い」とは何でしょう。辞書を引くと、1…よごれ、にぎり、くもりなどがなく美しい。2…心に不純なところがない。とあります。

「明るい」とは何でしょう。1…光が十分にあり、ものがよく見える状態。2…将来などに希望や喜びが持てる状態。3…性格や表情、雰囲気などが朗らか。4…公平でやさしいところがなく、堂々としている様子。とあります。

「清く明るく」…これらのことから、学校にどのような願いが込められているのか、どのような学校を目指してきたのかが伝わってきますね。

清明小学校の皆さん、いかがでしょうか。

2学期の生活に希望をもってスタートしようとしている皆さん、大変なことや苦しいこともあると思います。それでも一步を踏み出そうとしている皆さん。友だちの姿やものごとをしっかりと見つめようとする皆さん、皆さんの中に「清明」の心、心の芽は確かに在ると思います。「清明」を願う学校地域に生きる私たちとして、自分を友だちを想い、皆で「清明」の心を育んでいきましょう。素敵な2学期になることを願っています。

